

全国ハザードマップポータルサイトの高度化

(概算要求額 29百万円)

【背景・目的】

「国土交通省 安全・安心のためのソフト対策推進大綱」(平成18年6月)に「全国の各種ハザードマップを一元的に検索・閲覧可能なポータルサイトを設置する」と記載。

平成19年4月に全国の市町村が作成している各種ハザードマップをインターネット上で検索・閲覧可能なポータルサイトを構築して部分運用を開始したが、ハザードマップの種類ごとに市町村単位での検索・閲覧のみ可能。

多数の自治体にかかわる広域的・複合的な大規模災害に備えるためには、関連する自治体全域の各種のハザードマップについて、国における一元的な情報提供が必要。

【施策の概要】

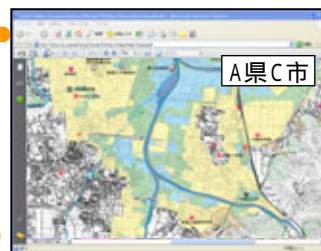
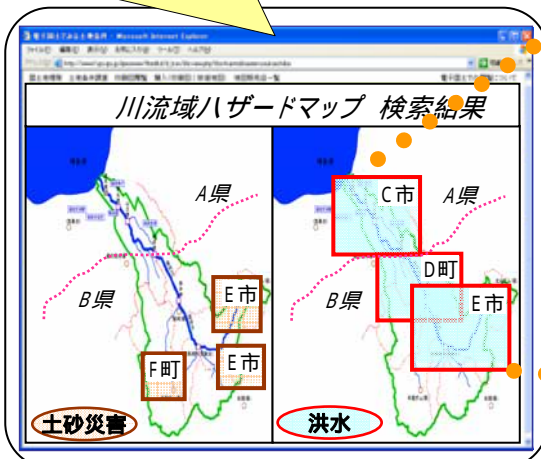
広域、多種類のハザードマップについて、一元的な検索・閲覧のための仕組みを構築するとともに、ハザードマップとあわせて、国土地理院の整備する土地条件図、詳細な標高データ、活断層の位置情報などの防災地理情報や空中写真などの画像情報等の統合的な検索・閲覧を可能とする。

【効果】

国や地方公共団体では、大規模災害対策のための広域的な防災計画の作成や多面的な災害予測に活用。いつでも誰でも自由に各種のハザードマップや防災地理情報の入手・閲覧が可能となるため、住民の防災意識の向上や災害発生時の迅速な避難行動の実現に資する。

広域の各種災害に関するハザードマップの一元的検索・閲覧機能

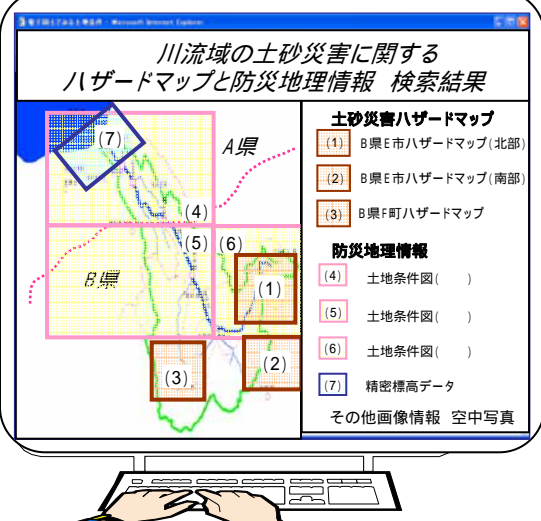
広域の各種ハザードマップを一元検索



各地のハザードマップを、連続的に表示切り替え

ハザードマップと各種防災地理情報の統合的な検索・閲覧機能

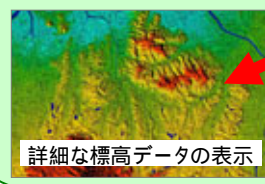
川流域の土砂災害に関するハザードマップと防災地理情報 検索結果



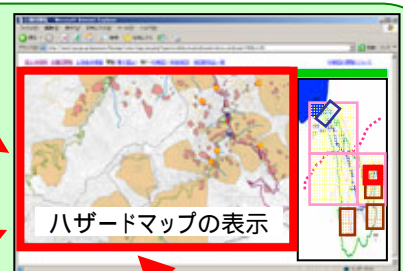
ハザードマップと各種防災地理情報(土地条件図、詳細な標高データ)や空中写真等の画像情報を、統合的に検索し、連携して表示切り替え



土地条件図の表示



詳細な標高データの表示



ハザードマップの表示



空中写真の表示